

2006年3月27日

HOYA株式会社

HOYA CANDEO OPTRONICS株式会社

HOYA CANDEO OPTRONICS(株)人間事業所の閉鎖 ならびに土壤復旧工事についてのお知らせ

HOYA株式会社の連結子会社であるHOYA CANDEO OPTRONICS株式会社(ホーヤ カンデオ オプトロニクス)は機構改革に伴い、2005年12月をもって人間事業所(埼玉県入間市)を閉鎖し、新たに開設した瑞穂事業所(東京都西多摩郡瑞穂町)に移転しました。

人間事業所の移転に伴い、土地所有者であるHOYA(株)が埼玉県生活環境保全条例に準じて敷地全体の土壤調査を実施しました。その結果、敷地内の土壤から環境基準を上回る鉛、ほう素、セレンが検出されました。なお、揮発性有機化合物については検出されておられません。土壤汚染の主な原因は鉛、ほう素、セレンを含んだガラス研削くずが土壤中に混入したことなどが考えられます。

なお、敷地境界付近の地下水に関しては環境基準値内であったため、敷地外への影響はないものと判断しています。

本調査の結果および土壤汚染対策についてはすでに関係当局へ報告しており、また今後も関係当局のご指導を仰ぎながら土壤復旧を図ってまいります。工事にあたりましては、法令を遵守し安全と環境に十分配慮して実施してまいります。HOYAとしては今後も必要な情報を適宜ホームページ等にて開示してまいります。また、跡地の活用については、売却も含めた検討を行ってまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
HOYA株式会社 IR・広報グループ
Tel: 03-3952-1166

添付資料

【HOYA CANDEO OPTRONICS(株)について】

設 立： 1988年(昭和63年)10月1日
 本社所在地： 埼玉県戸田市氷川町3-5-24
 代表取締役社長： 原 誠
 事業概要： 光機器製品、光機器応用製品及びEOガラス製品の製造・販売
 資本金： 4億9千万円
 社員数： 125名(2006年2月現在)

【入間事業所について】

操業開始： 1969年(昭和44年)6月
 所在地： 埼玉県入間市大字新久字下新田109-2
 敷地面積： 約2千2百平方メートル

入間事業所は、1969年に他社工場を買収し、光学レンズブランクスの製造・販売拠点として操業を開始しました。その後何度か組織変更がありましたが、主に光学ガラス等の製造・販売拠点として長年にわたり操業してまいりました。2004年、更なる組織改編によりHOYA CANDEO OPTRONICS(株)となり、電子光学用(EO)ガラス事業の拠点となりました。

【土壌分析結果(含有量・溶出量)】

特定有害物質 1	含有量(mg/kg)		溶出量(mg/l)		最大深度(m) 2
	分析値	基準値	分析値	基準値	
鉛	基準値以下 ~7,800	150	基準値以下	0.01	1
ほう素	基準値以下	4,000	基準値以下 ~11	1.0	6
セレン	基準値以下	150	基準値以下 ~0.073	0.01	1

1:土壌汚染対策法に定められている特定有害物質全て(重金属、揮発性有機化合物、農薬)を分析し、上記物質のみ汚染あり。
 2:基準超過の認められた最も深い深度を示す。

【地下水分析結果】

特定有害物質	分析値(mg/l)	基準値(mg/l)
カドミウム	基準値以下	0.01
六価クロム	基準値以下	0.05
シアン	検出なし	検出されないこと
水銀	基準値以下	0.0005
セレン	基準値以下	0.01
鉛	基準値以下	0.01
ひ素	基準値以下	0.01
ふっ素	基準値以下	0.8
ほう素	基準値以下	1

土壌汚染対策法に定められている特定有害物質全てを分析し、汚染なし。

【土壌復旧工事予定期間】

現地工事着工： 2006年4月6日
 現地工事完了： 2006年8月末